

## 神戸市政調査会 第9回の議論について

## 議論のテーマ

「これからの時代の課題解決に取り組む」市民自治のあり方について

## 第8回の議論

「地域の担い手不足」や、その背景にある「時間貧困」により活動時間を合わせる事が困難な状況について問題提起がなされた。また、時間帯が違う人同士でも関われる仕組みの一つとして「場づくり」の重要性が示され、IT等の手段、防災等のテーマ、マンション等の生活単位といった複数の切り口から、「誰が」「どこで」「どのように」関わるかという多角的な視点で議論が展開された。

## 第9回の議論のポイント

これまで地域が担ってきた役割と負担を、これからの時代に見合った形に組み替えるために、どのような“対話”をデザインすべきか？

特に「対話の目標設定」「対話の単位」「対話の手法」の観点から議論する。